



9月園だより

令和 5年 9月 1日
目黒区立大岡山保育園園長

まだ残暑ではありますが、夜には秋の虫の音（ね）が聞こえるようになり、風もいくらか爽やかに感じるようになりました。7、8月にたっぷり味わった水遊びは心身ともに成長した取り組みであり、水という素材を通して感触だけでなく量や質を感じていける学びもたくさん経験することができました。

1歳児クラスの可愛らしいつぶやきがあったのでご紹介します。保育室で遊んでいた子が急に室内が暗くなったことに気づき「太陽どこいっちゃったの？お外暗いよ」とつぶやきました。保育士が「雲に隠れちゃったのかな？」と返します。するとその子は「お庭にいっちゃったのかな？」「テラスにいっちゃったのかな？」と腕を組んで考えています。太陽が出てきて再び室内が明るくなると「おかえりなさい。おててあらってね」とつぶやいていました。1歳児クラスの中でも2歳の誕生日を迎える頃にはイメージを膨らませることが少しずつ巧みになり、自分の経験や絵本などで知り得たことをその場面に照らし合わせられるようになってきます。子どものつぶやきは大人に詩のような形となって耳に届き、新鮮な響きとして大人の心を癒してくれます。子どもの様々な気づきの言葉を私たち大人が詩や物語としてとらえ、やりとりを楽しむと子どもはなおのこと想像性を働かせることを楽しんでいきます。想像性を育むことで、より興味や関心の範囲が広がったり、問題解決に向けていく力の下地になっていくと思っています。

10月には運動会を予定しています。今年度は幼児クラスに加え2歳児クラスの方は全員参加、0、1歳児クラスの方は自由参加の開催となります。また詳しいお知らせは後日通知いたします。ぜひご参加をお願いいたします。

9月の予定

引き取り訓練（避難訓練）
身体計測

10月の予定

運動会（2～5歳児）
身体計測、避難訓練
芋掘り遠足（4・5歳児）
焼き芋会（全園児）
秋の定期健康診断（全園児）

さくらんぼぐみがねこだらけ 3歳児クラス（さくらんぼぐみ）

三角のマグネットを型にしてペンでなぞりリボンを描いたのですが、その形を見て「やっぱり猫にする、先生手伝って」と言ってきました。ハサミで紙を三角に切りスズランテープに付けて猫耳のカチューシャを作り、そのまま尻にもテープをつけて尻尾が出来上がると猫ごっこが始まります。猫のお世話ごっこが始まるとそこへ夏の間に家庭で経験したことが加わっていきます。「ぼくおじいちゃんになる」「ぼくこの間ね、おじいちゃんちに電車に乗っていったんだ」そうすると「私も車でお出かけしたんだよ。猫になりたい！（作りたい）」とおじいちゃんの家、車に、電車にとあちらこちらに猫が増えていき、猫の赤ちゃんやお母さん、おじいちゃんと設定も増えてそれはもう猫の世界のようでした。

今では「れもんぐみさんみたいにお散歩できる猫さん作りたい」「ユニコーンがいい」などとどんどんイメージを広げて遊んでいます。ハサミやペンの使い方も日々上手になりをますます制作を楽しんでいる子どもたちです。



楽しかった 夏のあそび

0歳児クラス（いちご組）

いちご組はみんな水遊びが大好きで、たらいの水の中に手を入れてパシャパシャと水の感触を確かめています。慣れていくと洗面器に入った水を持ってひっくり返しびしょ濡れになることもあります。臆せず楽しそうに遊ぶ姿も出てきました。自分の足にそっと水をかけてみたり、足をゴシゴシこすり、お腹もゴシゴシこすって体を洗う真似を楽しんだりもしています。ある子はひしゃくやカップで水をすくって周りに撒き始めました。壁や床、窓に何回も水を撒いて楽しんでいます。満足すると今度は保育士をじっと見て、保育士に向かって水をかけはじめます。「わー冷たい」と驚く保育士を見て、笑ってまた水をかけ始めます。濡れることを気にせずどんどんダイナミックに遊ぶようになってきました。水遊びを通して気持ちも心も解放されたことでより笑顔が増えてきたと感じています。今後も感触遊びなどを通して子どもたちの心の奥にある豊かさを引き出していきたいと思います。



2歳児クラス（りんご組）

赤、青、黄色の色水を組み合わせて「見てーオレンジになった」「これはぶどうジュース」と色の変化や見立て遊びを楽しんでいます。「お茶できたよ」と言うので覗くと本当に麦茶のような色ができていました。「飲んでいいよ」と言われ保育士が「今日は暑いからおいしいね」と飲む真似をするとその様子を嬉しそうに見ています。泡のコーナーではキューピー人形をお風呂に入れている子がいました。スポンジで泡を取って優しく洗い「シャワー掛けるよー」と言いながら泡を流しています。「さっぱりー」とハンカチで体を拭いていたので「お風呂から上がったからお茶飲もうか」と保育士が先ほどもらったお茶をキューピー人形に飲ませてあげました。その姿を見た子が保育士に「ちょうだい」と言うので「お茶作ってくれるか聞いてみよう」と声を掛け一緒にお茶をもらいに行きました。作ってくれた子は「はい、どうぞー」と届けてくれ、お風呂あがりのキューピー人形たちの前に並べてあげていました。様々な水遊びを重ねるごとに遊び方も変化していき、見立て遊びやごっこ遊びへと広がりを見せていきました。水遊びで経験した遊びを室内や戸外でも引き続き楽しめるように、環境やごっこ遊びのきっかけを作ったり、子どもたちのやり取りを楽しめるように保育士も一緒に関わって遊んでいきたいです。

5歳児クラス（ぶどう組）

「今日はプールで〇〇泳ぎしたい」とこの夏を毎日期待しながら過ごしてきました。プールでも水遊びでも、水を全身に浴びながら思い思いにダイナミックに遊んでいます。保育士や友達と一緒に足をバタバタさせたり、水の中に顔をつけたりしてみんなでゲームをしながら水に触れ楽しむことができました。最初はビート板などを使って身体を浮かせていた子ども、プール活動の回数を重ねていく間に、自分で水の中に体を浮かせてみたり、保育士に「見て」と嬉しそうに言いながら、けのびをしてみたりとできることが増えてきました。自分の姿を見てもらう喜びや誇らしさを感じながら、気持ちよさそうにプールに参加していました。保育園生活最後のプールを思いきり楽しみ、できることが増えたことで得た自信をこれからの活動に繋げていきます。

